

時代とともに変化する公民館を目指して

船橋市東部公民館



東部公民館外観



オンライン事業の様子

公民館の沿革・年表

- ・昭和28年 船橋市公民館前原分館として設立
- ・昭和35年 東部公民館に改称
- ・昭和52年 現在地に新築開館
- ・平成29年 優良公民館として文部科学大臣賞受賞
- ・令和4年 第4回全国公民館インターネット活用コンクール金賞受賞

左図・写真の説明等など（PRポイントなども可）

写真上段は東部公民館の外観。JR津田沼駅から徒歩3分の好立地であり、市内26公民館で最も利用率が高く、多くの市民に利用されている。

写真下段は令和2年度開催「ニュージーランドで過ごす夏のクリスマス」の様子。参加方法を公民館またはオンラインの選択制にしたことで、20代～80代の幅広い世代で70名（公民館20名、オンライン50名）の参加があった。オンライン参加者からは「旅行に行けないコロナ禍で、現地のガイドの方に案内してもらえてとても楽しいひと時だった」など高評価だった。

1. 都道府県名	千葉県	3. 公民館対象人口	46,331人	5. 来館者のインターネット接続環境	無線LAN (Wi-Fi等)	
2. 市区町村名	船橋市	4. 建物設置年月日	昭和52年	6. 来館者のインターネット接続最大端末数	100台	
7. 運営主体	<input checked="" type="checkbox"/> 市町村教育委員会 <input type="checkbox"/> 指定管理者 (<input type="checkbox"/> 地区まちづくり協議会) <input type="checkbox"/> その他 ()					
8. 来館者数	<input checked="" type="checkbox"/> 学級・講座 181人 <input type="checkbox"/> その他 0人 ()	<input checked="" type="checkbox"/> 貸館、サークル活動 54,835人 <input type="checkbox"/> その他 ()	<input checked="" type="checkbox"/> 講演会、展示会等 1,757人 <input type="checkbox"/> その他 ()	合計	56,773人	
9. 職員数	<input checked="" type="checkbox"/> 専任 6人 <input type="checkbox"/> 兼任 0人 <input type="checkbox"/> 非常勤 3人 <input type="checkbox"/> ボランティア協力者 0人 (職員のうち社会教育主事有資格者の数 1人 職員のうち社会教育士の数 0人)	合計 9人				
10. 予算	<input checked="" type="checkbox"/> 市区町村予算 <input type="checkbox"/> 委託金 <input type="checkbox"/> 自治組織等予算 <input type="checkbox"/> 寄附等 <input type="checkbox"/> その他 ()					
11. 公民館運営審議会	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> その他 ()					
12. 公民館が実施している、もしくは、関わっている取組・事業の分類	<input checked="" type="checkbox"/> 子育て支援 <input type="checkbox"/> 若者のまちづくり参画 <input checked="" type="checkbox"/> ICTの活用 <input type="checkbox"/> ボランティア養成 <input type="checkbox"/> その他 ()	<input checked="" type="checkbox"/> 家庭教育支援 <input checked="" type="checkbox"/> 健康づくり <input checked="" type="checkbox"/> 防災 <input type="checkbox"/> 地域資源を活用したまちづくり	<input checked="" type="checkbox"/> 子どもの体験活動 <input checked="" type="checkbox"/> 高齢者の学び支援 <input checked="" type="checkbox"/> 地域学校協働活動 <input checked="" type="checkbox"/> 日本語を母語としない住民の学び支援	<input type="checkbox"/> 子ども食堂 <input type="checkbox"/> 障害者の学び支援 <input type="checkbox"/> コミュニティ・スクール <input type="checkbox"/> 自主夜間中学		
13. 施設の特徴、魅力	<input checked="" type="checkbox"/> 複合施設 (<input type="checkbox"/> 図書館 <input type="checkbox"/> 学校 <input type="checkbox"/> 生涯学習センター) <input type="checkbox"/> その他 (連絡所)					
14. 各種事業等で連携・協働している団体等 (団体名記述)	<input type="checkbox"/> 幼稚園・保育所 <input checked="" type="checkbox"/> 小中学校 <input type="checkbox"/> 高校 <input type="checkbox"/> 大学 <input checked="" type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> NPO <input checked="" type="checkbox"/> 各種団体 <input checked="" type="checkbox"/> 行政機関 <input type="checkbox"/> 図書館 <input type="checkbox"/> 博物館 <input type="checkbox"/> 青少年教育施設 <input type="checkbox"/> その他 (前原小学校、中野木小学校、二宮小学校、前原地区社会福祉協議会、前原地区スポーツ推進委員会、社会教育課、青少年課、前原児童ホーム、船橋国際交流協会、ソフトバンク(株) 他)					

船橋市東部公民館

OPEN 9:00~21:30

TEL 047-477-7171

H P shi.lg.jp/shisetsu/toshokankominkan/0002/

SNS [tps://m.facebook.com/funabashi.kominkan/](https://m.facebook.com/funabashi.kominkan/)





1. 取組を進めた要因・背景、地域課題、住民ニーズなど

- ①新型コロナウイルス感染拡大防止のため、休館が続いたことから、「新しい生活様式」としてオンラインでの繋がりが求められた。
- ②公民館の利用率が減少傾向であり、かつ、利用者は60歳以上が主流であることから、新たな利用者層の開拓が必要である。
- ③スマートフォン等の普及により、インターネット利用率が向上しているが、一方でそのようなデジタル機器が使用できない人がいる

2. 取組内容（力を入れている活動、特徴的な活動、地域課題解決の活動、運営の工夫など）

【オンライン事業（ICTの活用）】

上記①、②の課題から、自宅からでも参加ができる**オンラインツールを活用した事業**を実施。令和2年度に「ニュージーランドで過ごす夏のクリスマス」、「今日から私もユーチューバー」。令和3年度に「仕事もプライベートも話し方で変わろう」を開催した。

【公民館でスマホ・タブレットの使い方を支援（高齢者の学び支援）】

上記③の課題から、「デジタルデバインド（ICTを使いこなせる人とそうでない人の格差）を解消していくことで、市民がICTの恩恵を享受できるようにする」ことを目的に、スマートフォンやタブレットなどの使用方法を学ぶ**「デジタルデバインド対策事業」**や、公民館に来館した市民からのスマートフォンに関する“ちょっとした質問”を公民館職員が受け付ける**「スマホコンシェルジュサービス」**を令和3年度より市内公民館で開始。

【船橋市公民館Facebookの運用開始（ICTの活用）】

公民館でFacebookを活用し、写真や動画を利用して公民館の楽しさを常時PRすることで、「既存の利用者により公民館を身近に感じてもらう」ことやFacebookの利用者層である30代～50代に事業を周知することで**「新規の利用者の獲得」**を目指すことを目的に令和3年度より運用開始した。

【公民館HPの変更やオンライン申請システムの活用（ICTの活用）】

公民館のトップページにタブを作成し、知りたい情報をすぐに見つけられるよう工夫を行った。また、デジタル世代への利用促進のため、**オンライン上で事業の申し込みができるシステムを活用**。



オンライン事業の募集チラシ

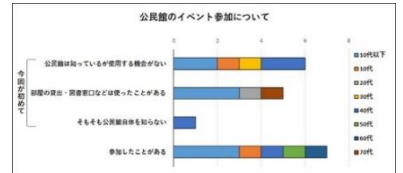


東部公民館ホームページ

3. 取組による成果や効果

【オンライン事業】

- 新しい利用者層の開拓 ●コロナ禍での**「新しい生活様式」に適用した事業の立案**
- 社会人や子育て世代など「オンラインだから参加できる」といった参加者が多く、コロナ禍での「非接触」や「非対面」は、公民館にとって**新たなニーズに気づききっかけ**となった。
- 【公民館でスマホ・タブレットの使い方を支援】
- デジタルデバインドの解消 ●公民館利用したことがない方の利用促進
- 【船橋市公民館Facebook、公民館HPの変更やオンライン申請システムの活用】
- 新しい利用者層の開拓 ●**HPアクセス数の増加** ●デジタル世代に向けた仕組み作り



オンライン事業参加者内訳（新規開拓）

4. 取組の検証・改善を行う仕組み・方法

- 事業参加者向けのアンケートを取ることで、ニーズの把握を行い、開催方法や内容を検討する。
- 令和3年度インターネット使用に関するアンケートにて「端末・機器は持っているが使い方がわからない」が26.1%、「利用したいが、使い方が分からず、端末・機器の購入に踏み切れない」が23%であった。今後の割合を確認するために数年後に再度アンケートを行う。

5. 公民館として大切にしていること、大切にしている考え

時代とともに変化する地域の課題や実情に合わせて、地域の方々にとっての公民館の価値や有り方を模索し、**時代に取り残されぬよう常に新たな公民館を目指していく**。また、利用者視点での運営を心掛け、どうすればより公民館が利用したくなるかを常に意識し、既存のやり方にとらわれることなく、講座の内容やターゲット層に合わせ、最適な学びの機会をつくる。

6. これから公民館をどのようにしていきたいか。次の仕掛けやビジョンなど。

地域の拠点である公民館を幅広い世代に利用してもらい、公民館が**地域の繋がりの場**や**主体的に学習する場**になることを目指す。そのために、新たな利用者層のニーズに合う事業を展開することや、事業の周知方法として、公民館を普段利用しない方に向けたPR方法を検討する。